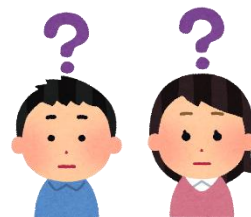


# ～書きかた教室通信～

Vo.2

2021.12

その鉛筆の持ち方、合ってますか？



## ～正しい持ち方～



※鉛筆の軸はやや斜め

人差し指と親指で挟み  
中指は鉛筆の下で支える

ぎゅっと握りこまない！  
生卵の中に入れるイメージ

## ～よく見る間違った持ち方～



強く握りすぎ  
鉛筆の軸が前に傾いている



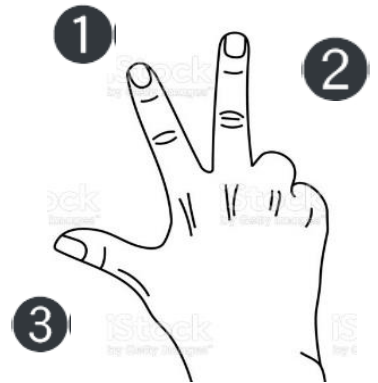
親指が前に出過ぎて  
人差し指が機能しない



後ろから支えるはずの中指が  
前に出てきてしまっている

## 鉛筆を支える指にはそれぞれの役割があります！

- ① **人差し指**…縦線を真っすぐ引く役割
- ② **親指**…横線を真っすぐ引く役割
- ③ **中指**…上に向かってハネる際にペンを押し上げる役割



### ～鉛筆の持ち方が悪い場合に共通して見られる現象～

- × **真っすぐの線が書けない** (人差し指の役割が正しく機能していない)
- × **マスの中心をとらえることが出来ない** (自分の指や手が邪魔して見えていない)
- × **同じ線を何度も消して書き直す** (思った通りの場所に線が書けない為)
- × **首を傾けながら書く** (鉛筆を持つ位置が下過ぎて書いている文字が見えない為)



➡ 正しい持ち方をしないと**筆記具の先端が見えない為**、マスのどこに書いているかが分からず、線も歪んでしまう。

書きかた教室で 60 分間正しい鉛筆の持ち方が出来ていても、**普段の学校生活では間違えた持ち方で書いている場合があります。**

書の歴史を辿ると、鉛筆の持ち方に関しては本来自由であるといった説もありますが、現在は統一の持ち方で指導されており、なによりも間違った持ち方だと本人の手や指が疲れたり、線が真っすぐに書けずに歪んでしまうといった弊害があります。

指とペンの動きを最大限に生かして、美しい文字が書けるように普段から意識していきましょう♪  
家庭内で宿題をやっている際など、たまに気にかけてあげてください☆